

富 山 県 知 事

新 田 八 朗 殿

要 望 書



一般社団法人
富山県建設業協会

道路除雪業務のあり方や体制維持等について

近年、地球温暖化の影響等により暖冬が続いており、特に令和元年度は稀にみる小雪で県管理道路における除雪車の出動回数は極めて少なくなりました。

しかしながら、今年の冬は一転して昨年12月の降雪初期から、集中的な降雪が相次ぎ、1月初旬には富山市内では最深積雪が128cmと35年ぶりに100cmを超えるなど記録的な豪雪となり、車の渋滞や立ち往生が発生いたしました。

建設企業は困難を極める中、道路交通を確保するため、連日、昼夜を問わず道路交通網の早期復旧や孤立地域の解消などに懸命に取り組んだところであります。

しかしながら、これまで経験したことのない渋滞が発生したこと等から、県ではこの災害級の大雪を教訓として、今後の交通対策の充実・強化につなげていくため、有識者による検証会議を開催されたところですが、富山県建設業協会としても、道路除雪に携わった会員企業をメンバーとする意見交換会を開催し、今冬の大雪時における除雪作業状況の検証などを通して今後の道路除雪のあり方や体制維持等について取りまとめを行ったところです。

除雪業務は、道路管理者や建設企業、住民の3者が一致協力して取り組んでこそ、効率的・効果的かつレベルの高い除雪に繋がると考えており、建設企業としては引き続き住民に喜んでもらえる除雪業務の遂行に努力して参りますので、県におかれましては以下の点について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和 3年 7月 29日

一般社団法人 富山県建設業協会
会長 竹内 茂

I 除雪体制の維持に対する支援について

- ・貸与機械の予備車も含めた増強とチェーンなど機材交換に係る機材費及び労務費に対する支援
- ・老朽化する除雪機械等の更新に対する支援
- ・休日における除雪作業単価の設定
- ・暖冬時における人件費の最低保証制度の導入
- ・除雪オペレーターの確保・育成に対する支援策の拡充
- ・待機料の設定など積算に関する市町村への指導

II 効率的・効果的な除雪業務について

- ・交差点除雪における道路管理者間の連携強化
- ・道路管理者間における雪捨て場の調整と市街地における堆雪場の確保
- ・ロータリー除雪車の配備拡充と排雪用ダンプトラックの必要台数確保
- ・視線誘導標の設置強化やマンホール蓋付近の段差解消など円滑な除雪業務の確保

III 県民に対する情報提供やPRについて

- ・降積雪予測、監視カメラによる路面状況、除雪情報や渋滞情報など、テレビやラジオなどマスコミの活用やSNSなど、インターネットを活用した情報発信の強化
- ・除雪業務の円滑な遂行に不可欠で建設企業やオペレーターの励みにも繋がる、沿線住民や道路利用者の理解と協力についてのPR強化

IV 大雪時における対応について

- ・消雪装置設置区間を含めた除雪業務優先路線の選定
- ・警察と連携した通行止め等の交通規制を伴う除雪業務の推進
- ・交通マヒが想定される場合は昼間時の除雪業務を検討
- ・除雪企業に対する道路管理者間の連携に基づく情報提供や作業指示の徹底
- ・除雪機械格納場所における宿泊待機など適時の出動に対応可能な体制の確保
- ・県民に対し特別警報として除雪に関する交通規制や降積雪予測などの情報提供

除雪業務に関する意見交換会を開催

1. 目的

令和3年1月7日から11日の記録的な大雪で県内は大渋滞や立ち往生が相次いだことを受け、富山県は除雪体制をはじめ様々な課題を洗い出す必要があるとして、大雪に係る交通対策の検証会議を立ち上げ、大雪に関する課題と対応案をまとめた。

富山県建設業協会としても今回の大雪を踏まえ、道路除雪に携わった会員企業から幅広く意見や課題等をいただき、富山県をはじめ道路管理者に対し今後の除雪業務のあり方や体制維持等について提案や要望を行っていきたいと考え開催した。

2. 構成メンバー

座長 上田土木委員長

副座長 得能舗装専門委員長

各支部から代表各2名 計18名（別添、出席者名簿のとおり）

3. 開催日時及び場所

令和3年5月12日（水）10時～12時 富山県建設会館 大会議室

4. 意見交換のテーマ 「今後の除雪業務のあり方と除雪体制の維持について」

今冬の除雪業務で直面した、排雪作業、情報提供、機械除雪、待機、積算関係などの課題等について意見交換を行った。

- ・ 除雪体制全般について
- ・ 排雪作業（場所）について
- ・ 情報提供等について
- ・ 機械除雪について
- ・ 待機について
- ・ 積算について
- ・ その他